

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 24

2009.11

Kashiwaba Neurosurgical Hospital

日常的に起きる頭痛と危険な頭痛

あなたの頭痛はどの種類？

部門レポート／地域医療福祉科 医療相談室

柏葉脳神経外科病院



特定医療法人

柏葉脳神経外科病院

あなたの頭痛は どの種類？

正しい治療で 痛みを軽減させましょう

緊張型頭痛

締めつけられるような痛み

【症状】頭全体を何かで締めつけたような痛み、首筋から後頭部が重苦しい

【原因】頭部の筋肉が持続的に収縮することで起きる循環障害。ストレス、寝不足、肉体的な疲れなどが誘因になります。

【対処】筋肉の緊張を軽減する薬を服用すると良くなりますが、日常生活で肉体的・精神的緊張をできるだけ取り除くと共に、入浴や適度な運動をすることが大切です。

日常的に起きる頭痛
MRIやCTで検査しても脳に異常はなく、生命にかかわらないのですが、日常的・慢性的に痛みます。

偏頭痛

脈打つような激しい痛み

【症状】ズキズキと脈打つたびに頭の片側が痛む、頭痛が始まる前に吐き気や目の一部にキラキラ光る点が見えたりすることがある

【原因】頭蓋内外血管の拡張。痛む前に血管が収縮するため、目がチラチラしたり、キラキラ光る点が見えたりする症状が出ます。若い女性に多く、月経時、心身の疲労、チョコレートやチーズなどの食べ物、コーヒー、飲酒が誘因になることがあります。

【対処】治療薬には血管を収縮させる作用のあるトリプタン製剤が非常に効果的です。更に日常生活を規則正しくし、ストレスを避けることで痛みを軽減することができます。

頭痛は誰もが経験したことのある身近な病気です。すぐに治まることもあります。長時間痛みが続いて仕事や家事に支障をきたすことも。頭痛にはさまざまな種類があり、原因や治療方法も異なります。自分の頭痛の種類を知り、適切な治療を受けることが大切です。自分の頭痛の種類を知り、適切な治療を受けることが大切です。当院には、1年間に25,000人ほどの患者さんが頭痛で来院されています。



柏葉脳神経外科病院 副院長
脳神経外科

徳田 耕一

プロフィール

1977年 弘前大学医学部卒業

1986年 米国カリフォルニア大学
脳腫瘍研究センター留学

【得意分野】脳腫瘍

【認定医・専門医】

医学博士

日本脳神経外科学会専門医

日本脳卒中学会専門医

受診するときのポイント

自分の症状をきちんと伝えましょう

- 頭のどの部分が、どのように痛みますか？
- 痛みは、いつ始まりましたか？
- 痛みは、「なぐられたように」突然に起こりましたか？
- 痛みは、徐々に始まりましたか？
- 痛みは、どんなときに強くなりますか？
- 痛みは、どのくらい続きますか？
- 頭痛のほかに、気になる症状がありますか？
- 頭痛が始まる前に、目がチラチラするなどの前駆症状がありましたか？
- 薬を飲みましたか？

頭痛が起きた時の様子をメモしておきましょう

危険な頭痛

何の前ぶれもなく激しい頭痛が起きたら、早急を受診し治療を受けましょう。

クモ膜下出血

殴られたような痛み

【症状】今まで経験したことのない激しい頭痛が突然出現、ハンマーで殴られたような痛み、嘔吐を伴い、意識がなくなることも

【原因】脳動脈瘤が破裂し、クモ膜の下に血液がたまる。

【対処】ただちに脳神経外科に連絡して、救急車で来院してください。緊急手術を含めた脳神経外科的治療が必要です。

脳腫瘍

日増しに強まる鈍い痛み

【症状】朝方に頭痛があり、徐々に痛みが強くなる、手足に力が入らなくなったり、けいれんしたりする

【原因】腫瘍が正常な脳組織を圧迫。腫瘍の種類によって治療法が異なりますが、精密検査を行い、手術で腫瘍を取り除きます。

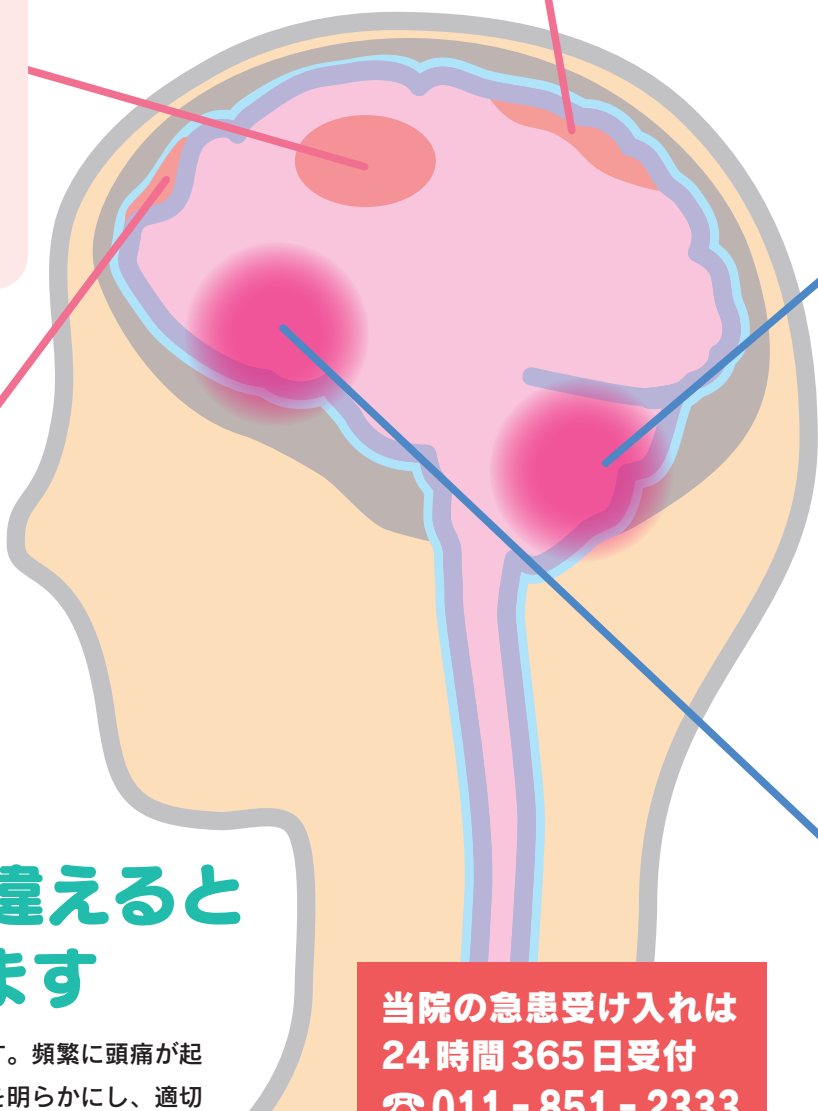
その他の危険な頭痛

髄膜炎の初期症状は、頭痛・発熱・嘔吐などで、「風邪だろう」と思って感冒薬で様子を見ることが多いのですが、進行するとけいれん、意識障害に至ります。慢性硬膜下血腫は高齢者に多く、頭部打撲1カ月位後に頭痛・物忘れ・歩行障害などが出現してきます。

頭痛は対処方法を間違えると悪化することもあります

自己流の頭痛対処は悪化させる要因になることがあります。頻繁に頭痛が起きるようなら一度診察を受け、自分の頭痛の種類や原因を明らかにし、適切に対処しましょう。

当院の急患受け入れは
24時間365日受付
☎011-851-2333



病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

部門レポート

地域医療福祉科
医療相談室

リーダー…飯尾英美
玉井夏紀、辻 清芽

療養中のさまざまな不安や心配ごとへの解決に向けてのお手伝いをします

3人の専門家が相談を受けます

医療相談室には3人の医療ソーシャルワーカーが在籍し、通院や入院中の患者さんやご家族を対象に、不安や心配ごとなどの相談に応じています。
通院や入院に伴ってさまざまな不安や心配ごとが生じることがあります。「こんなことを相談できるのだろうか？」と医療相談室の利用をためらっている方も少なくないようですが、以下のような内容でお悩みでしたら、ぜひ、ご相談ください。解決に向けたお手伝いをいたします。



ご相談は無料です。ご相談についての秘密は固くお守りします

- 医療費や生活費の心配：「入院費用の支払いが不安である」「主人の入院で収入が途絶え、生活費が不安である」
- 社会福祉制度（身体障害者手帳、各種助成制度など）・社会福祉施設（身体障害者施設、老人施設など）の利用：「後遺症で仕事を続けることができない」「退院しても在宅療養ができない」
- 介護保険制度の利用：「退院後、家族だけで介護できるかどうか心配」「自宅では車いすが使えないし、入浴もできない」
- 転院先の紹介：「リハビリを継続したい」「全身管理の必要性がある」
- 家庭内の人間関係の心配：「病気になることから、毎日イライラする」「家族が介護を手伝ってくれない」
- そのほか、誰に話して良いかわからない心配ごと：「後遺症が残り、精神的に不安定である」「疲れがたまり、介護がつらい」

また、当院を受診したことがない方や福祉事務所や保健所などの専門機関や近隣の病院からのリハビリ・療養目的の入院相談も受け付けています。
どうぞお気軽に医療ソーシャルワーカーへお声かけください。



医療相談室 直通電話
011-852-2260

相談時間 平日／9:00～16:30
土曜日／9:00～12:00



一瞬色づいた紅葉もアツという間に散ってしまい、日を追うごとに短くなる日照時間に近づくと冬を感じます。温暖化の影響なのか、今冬の降雪量も平年並みかやや少なめとの予報がでています。冬、どんな冬を迎えるのでしょうか。依然インフルエンザが猛威を振るっており、体調管理にはくれぐれもご留意ください。（小川）